広報

さめがわ

1997 NOV.
11
平成9年 No.527



奥州鮫川太鼓（10月19日 高原の鮫川うまいもの祭りで）

ふるさとの文化財

文化財は、長い歴史の中で生まれ、今の世代に守り伝えられてきた貴重な財産です。十一月三日は文化の日。そこで、今月号では、村内に数多くある文化財を、村文化財保護審議会会長の前田栄美さんに案内してもらいました。

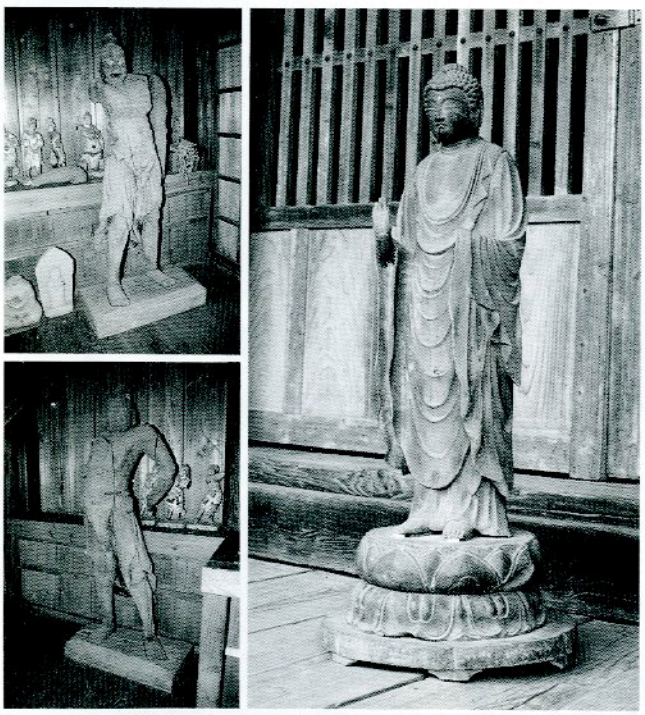


村文化財保護審議会
会長 **前田栄美**さん
（赤坂東野字宮代）

木造薬師如来立像・木造金剛力士立像（県指定重要文化財）

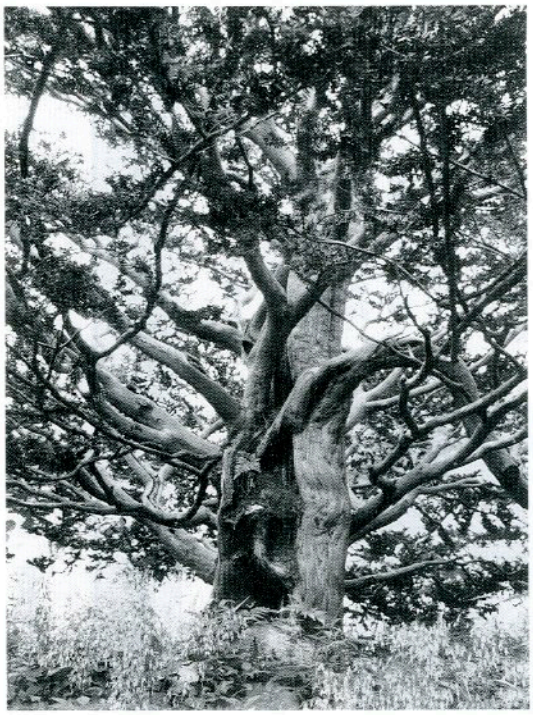
薬師如来像は高さ七四㌢、木の台座を含め九二㌢の檀像です。左手先と左耳、光背を欠いています。納衣の彫りは深く、肩から左右に流れる衣文の彫刻は、宗朝様式の影響を受けてやや複雑ですが、写実性に富み、鎌倉中期の慶派の特徴を示します。

同じ薬師堂には二躯の金剛力士像があります。ア形が一六六㌢、ウン形が一七七㌢の一木造りで、やや細身の面相、姿体、衣文の彫り、腰帯などに鎌倉期の特徴がみられますが、時代は鎌倉期を下るかもしれません。この期の金剛力士の類例は少なく注目されます。



金剛力士像（写真左上がア形、左下がウン形）と薬師如来像（写真右）

西山（にしやま）のイチイ（県指定天然記念物）



水野家書院の庭木のイチイ（写真は雄木）

水野家書院（村指定有形文化財）の庭にあるイチイの木で、雄と雌の巨木が並んで立っています。

雄木は目通り幹囲一・一五メートル、高さ六・五メートル、雌木は幹囲一・〇六メートル、高さ四・九メートルあります。

イチイは、別名「アララギ」といい、イチイ科に属する常緑の低木です。

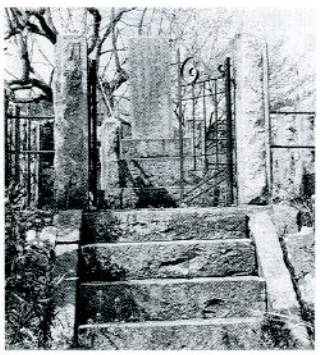
渡瀬（わたらせ）の獅子舞（しまい）（村指定無形民俗文化財）

昔、江竜田地区に悪疫が流行し、凶作が相次いだとき、一人の老人が三人の子供に獅子舞を演じさせながら流れつき、悪疫退散と豊作を祈りました。その翌年から豊作となり、平和も取り戻したので、老人から獅子頭をもらい受け、鎮守の熊野神社に奉納するようになったと伝えられています。

「鎮守熊野神社奉納獅子舞由緒」によると、吉野朝時代白川城主結城宗広卿が領内巡視の際、当神社に参拝し、国家安泰と五穀豊穣を祈願したとき、地区の青年子弟が一団となって獅子舞を奉納したのに起因すると伝え、爾来幾星霜連綿として受け継がれています。



渡瀬村救荒修祭記碑（村指定史跡）



天明三年（一七八三）、渡瀬村は長雨の被害で稲は実らず、餓死者が続出しました。村外に流亡する者も多く、百五十余りあった戸数が五分の一に減り、田畑が荒廃しました。村民は、荒れた農地の復興に努力し、寛政元年（一七八九）は大豊作となり、餓死者の骨を埋めて供養しました。さらに、天災は予期しない時に来るので、日ごろから備えなければならないと、後世の人々を戒めています。

寛政三年（一七九一）建碑。撰文及び書は水戸藩彰考館総裁・立原萬（翠軒）で、村民赤坂奉嘉の建碑によるものです。

■県指定文化財

種別	名称	指定年月日	所在地	所有・占有者
重要文化財	木造薬師如来立像（1躯） 木造金剛力士立像（2躯）	昭49・5・7	富田字彦次郎二一〇	東光寺（代）松本啓
天然記念物	西山のイチイ	昭28・10・1	西山字宝木五四	水野良一

■村指定文化財

指定番号	種別	名称	指定年月日	所在地	所有・占有者
1	無形民俗	渡瀬の獅子舞	昭48・1・10	渡瀬字江竜田	渡瀬獅子舞保存会
2	史跡	渡瀬村救荒修祭記碑	昭51・8・14	渡瀬字木之根八八	渡瀬区
3	史跡	追分石	昭51・8・14	西山字折戸一五六	阿久津春男
4	史跡	越物太郎就縛の地	昭51・8・14	渡瀬字北中野町一二六	大平太平
5	有形	木造揚柳観音菩薩坐像	昭54・3・29	赤坂西野字大塩	大塩農事組合
6	有形	切石観世音	昭54・3・29	赤坂西野字上九三	切石観世音世話人
7	有形	水野家書院	昭54・11・26	西山字宝木五四	水野良一
8	有形	折戸阿弥陀三尊像	昭60・6・20	西山字折戸一七二	折戸部落
9	有形	富田薬師堂	昭60・6・20	富田字彦次郎二一〇	東光寺（代）松本啓
10	有形	赤坂家長屋門	昭60・6・20	渡瀬字木之根六〇	赤坂博男

追分石（村指定史跡）



追分石は、棚倉と磐城を結ぶ旧街道のこの地点に、阿久津忠兵衛により享保六年（一七二一）に建てられたと伝えられています。

碑の表面に日輪に十一面観音の「梵字」及び「南無帰依三宝」と刻み、裏面下部に「江戸五十里、水戸弐十五里、京都百七十四里、仙台三十八里、会津弐十四里」と主要都市への距離を刻んでいます。

阿久津忠兵衛は、公から委嘱されて、もめ事の解決に当たっていたといわれ、仕事の関係で主要都市へ旅した際、距離を調査したものと思われます。

越惣太郎就縛の地（村指定史跡）

越惣太郎は、昌平校に学んだ水戸藩の儒者で早くから勤王に志し、万延元年（一八六〇）、長州藩の桂小五郎らと成破の誓いをし、封幕運動の先駆者でした。

元治元年（一八六四）、天狗党の筑波山挙兵に当たり、田中愿蔵隊に加盟し、終始行動を共にして指導的役割を果たしました。

後、天狗党は破れて八溝山に逃れ、ついに解党して四散しました。越惣太郎は奥州に下り、渡瀬と富田の村境であるこの地で、赤坂中野村の服部健蔵と小林勇蔵に捕縛されました。次いで棚倉藩主松平周防守の配下により、赤坂中野村常光寺墓地内で処刑（斬首）されました。享年四十一歳。

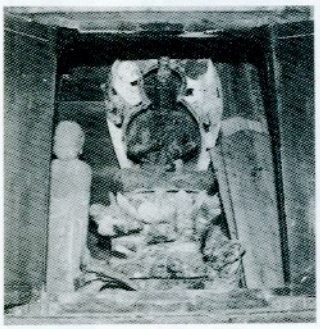
後年の明治維新では靖国神社に合祀され、大正七年には正五位を追贈されています。

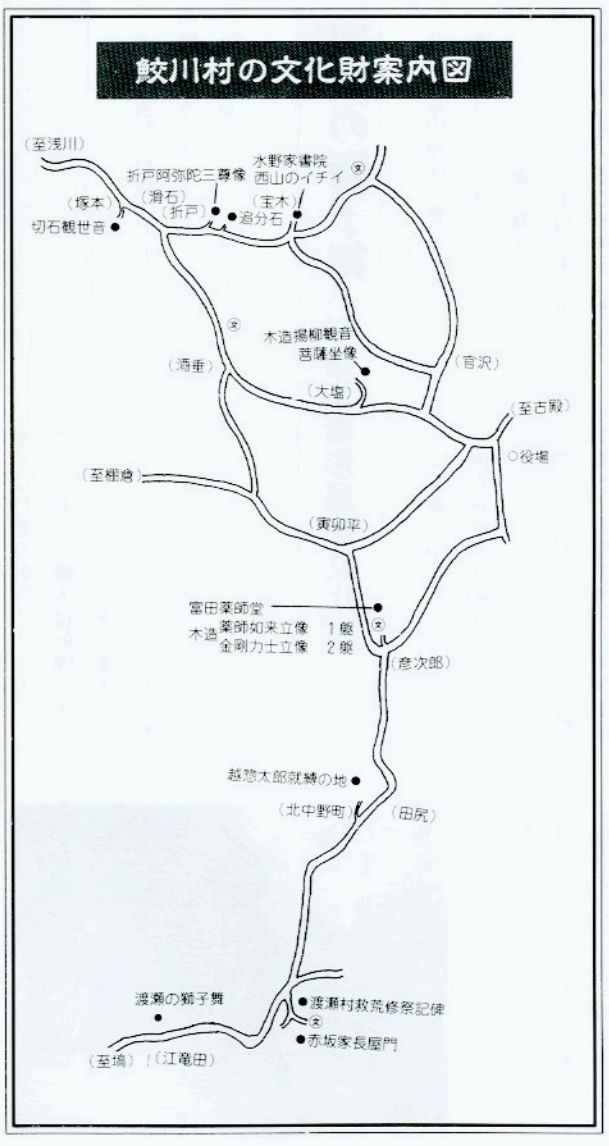


木造揚柳観音菩薩坐像（村指定有形文化財）

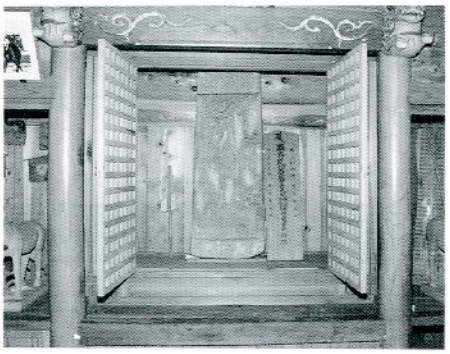
「大塩の観音様」として親しまれているこの仏像の台座には「仏子菩薩□□正義正和五年内辰二月八日、檀那大麻助光」と記され、村内で最も古い仏像です。西暦一三一六年（鎌倉時代）に造られ、一八一三年に採色されています。

この仏像は、慈眼山地福院（大塩地内にあった寺）と関わりがあったものと思われます。檀那大麻助光は、どのような人物だったかは不明です。「馬に霊験あり」として、遠く白河地方からも参詣者があったといいます。





切石観世音（村指定有形文化財）



切石観世音は、十三～十四世紀ごろの板碑といわれる供養塔で、梵字が一字刻まれています。

文政年間（一八一八～一八三〇年）、寺西代官が当所で三度落馬し、昔から乗馬のまま通行しない所と聞き、この霊石を発見し、自ら大檀那となって堂を建て、これを安置したと伝えられています。

「災厄を救い、馬匹を守護する霊験あり」として参詣者が多く、この碑の擦り粉を飲用すると祈願の効が大きいといわれたことから、その擦り跡が多く残っています。

水野家書院（村指定有形文化財）



水野家書院は、代々宝木村の名主をつとめた水野家が、江戸時代の初期に建築したものです。この建物は、江戸時代に幕府から派遣された巡見使や代官、領主などが昼食のための「御休所」などに利用しました。巡見使が来たときの記録や、御休所を表示した木札が残っています。

折戸阿弥陀三尊像（村指定有形文化財）



享保三年（一七一八）、宝木村の住人阿久津忠兵衛によって祀られました。阿久津忠兵衛は造り酒屋を営み、公事請負人（もめ事の調停人）として諸国を旅し、信仰心が厚く、この阿弥陀三尊像を現在地より東方の山の中腹に祀りました。

享保六年（一七二一）に阿弥陀堂が建立されましたが、堂宇が損壊したため地区で措置に困り、仏像を古殿の亀堂院に預けました。その後、部落に不幸が続き、二回にわたる火災で地区が全焼に近い被害にあったことなどから、坐女呪術師に聞いたところ阿弥陀様のたたりであるとされ、地区に戻し堂を建立し再興したと伝えられています。

富田薬師堂（村指定有形文化財）

富田薬師堂は、いつの時代に建築されたのか不明ですが、寛文八年（一六六八）に屋根をふき替えた際、棚倉城主内藤豊前守が寄進した棟札が残っており、これ以前の建築と思われます。

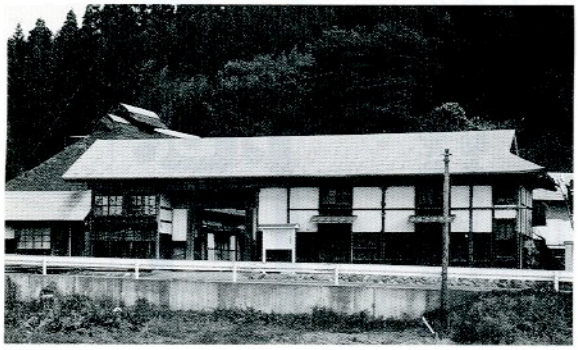
金剛力士像の表面がかなり傷んでいることから、安置していた仁王堂が老朽化して、しばらく風雨にさらされていたものと思われます。



赤坂家長屋門（村指定有形文化財）

長屋門は、代々渡瀬村の名主をつとめ「渡瀬村救荒修祭記碑」を建てた赤坂氏によって建てられました。いつの時代に建てられたかは不詳ですが、観音寺修復のときの棟札が同家に残っており、それに貞享三年（一六八六）と記されていることなどから、それ以前に建てられたものと推定されます。

渡瀬村救荒修祭記碑もかつてはこの屋敷内にあり、昭和十一年十二月一日、赤坂家二十一代・赤坂儀作氏により渡瀬村に寄贈されました。

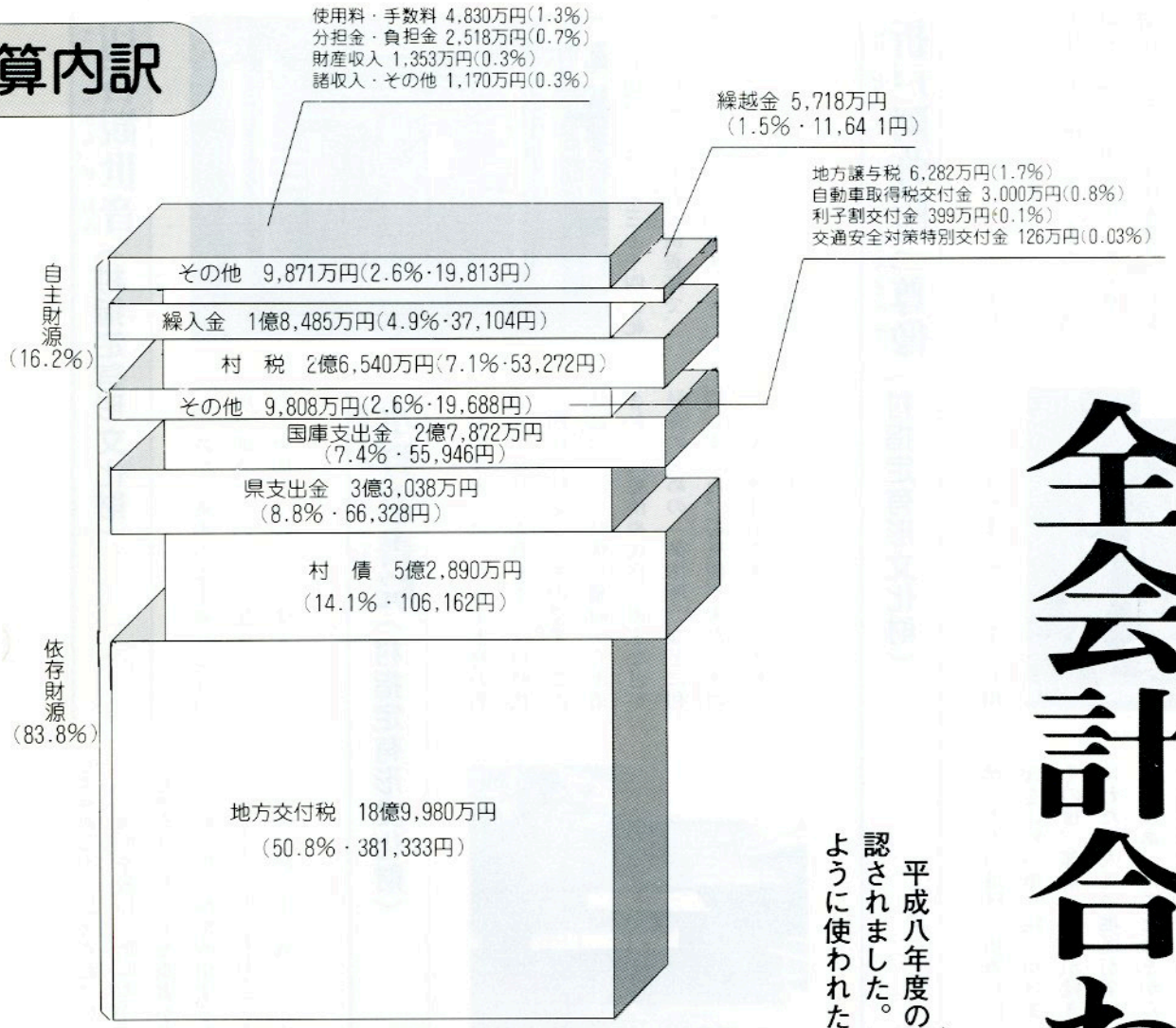


平成8年度決算

全会計合わせて52億円

平成八年度の決算は、一般会計と六つの特別会計が、九月の定例村議会で承認されました。皆さんから納められた税金や、国・県からの補助金などがどのように使われたのか、村の台所事情をお知らせします。

決算内訳



歳 入 37億4,203万円

4、280万円の黒字決算

平成八年度の一般会計の決算は、歳入総額三十七億四千二百三万円、歳出総額三十六億九千九百二十三万円で、四千二百八十万円の黒字決算（平成九年度事業に繰り越した額四百五十一万円を除く）となりました。

歳入決算

歳入については、前年度と比較すると二億五千百九十六万円（六・三%）の減額となっています。これは、前年度において、高齢者総合福祉センター建設事業や中山間地域活性化総合整備事業（農村公園整備、圃場整備など）などの大規模補助事業を実施したことが主な要因です。

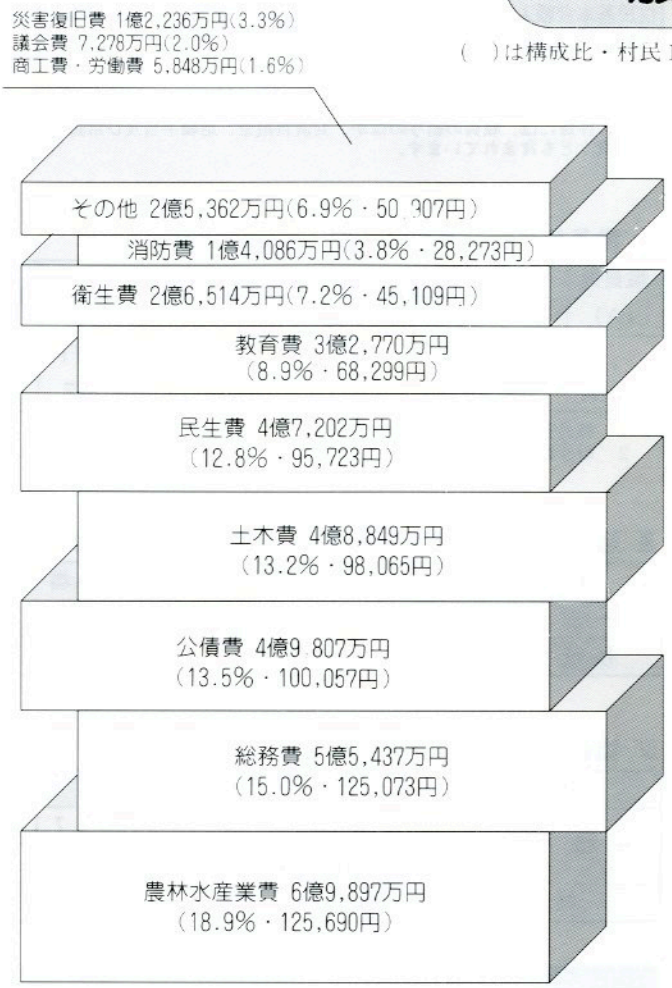
歳入の主なものは、地方交付税が十八億九千九百八十万円で歳入全体の五〇・八%となり、次いで、村債の五億二千八百九十万円（一四・一%）、県支出金三億三千三十八万円（八・八%）、国庫支出金二億七千八百七十二万円（七・五%）、村税二億六千五百四十万円（七・一%）などとなっています。

依存財源は三十一億三千五百

平成８年度　一般会計
主な支出状況

（単位：千円）

村税完納40年・地方自治50年記念式典開催のために	2,177
高齢者総合福祉センター「ひだまり荘」の運営のために	67,196
住民健康診査の費用として（人間ドックを含む）	19,099
合併浄化槽設置補助金として（25基）	23,700
東白衛生組合への負担金として（東白斎苑を含む）	71,540
山村体験施設（体験館）建設のために	67,168
団体営農道整備事業（降田線）	26,260
県営農道整備事業負担金（４地区）	169,682
県単農村整備事業（渡瀬上地区水路整備）	1,400
農村総合整備モデル事業（農道４路線）	52,000
（農業集落道１路線）	26,180
（営農飲雑用水施設）	23,000
交流施設「ほっとはうす・さめがわ」の運営のために	29,470
林道舗装のために（４路線）	94,420
村道改良舗装のために（５路線）	377,656
村営住宅建設のために（１棟）	31,097
防火水槽設置のために（３基）	10,681
村史編さんのために	14,714
学校給食センター改築設計のために	4,444
公共土木施設災害復旧のために（７年度災２カ所、８年度災12カ所）	97,049
農用地などの災害復旧のために（８年度災12カ所）	19,737
村の借入金返済のために	498,069



（　）は構成比・村民１人当たり

歳　出　36億9,923万円

八十九万円となり、歳入全体の八三・八%を占めています。

歳出決算

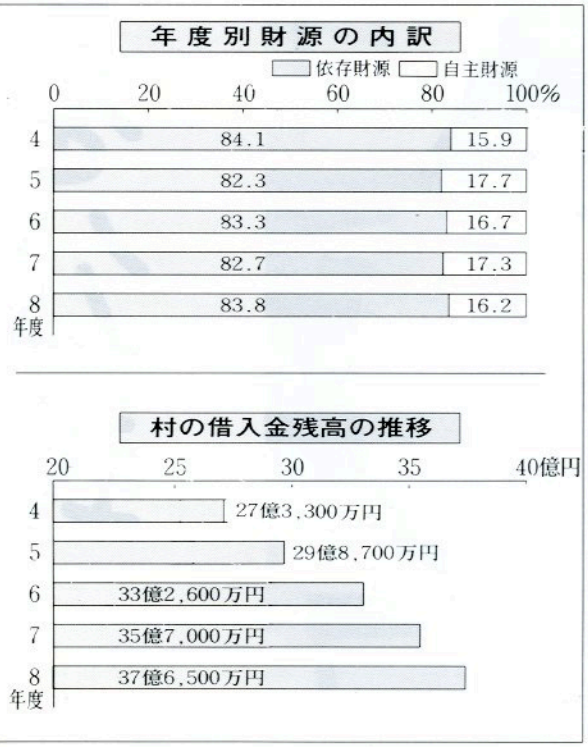
歳出については、総額三十六億九千九百二十三万円となり、前年度と比較すると二億三千七百五十八万円（六・〇%）の減額となっています。これは、歳入決算でも述べたように、前年度において高齢者総合福祉センター施設整備事業などの大規模建設事業を行ったことによるものです。

特別会計

特別会計の決算額については、表１のとおりです。

〈表１〉**特別会計の決算状況**　（単位：万円）

会計名		歳入	歳出	差引
国民健康保険	事業勘定	4億2,662	3億9,763	2,899
	直診勘定	8,625	8,367	258
老人保健		4億5,549	4億4,893	656
簡易水道事業		2億1,111	2億0,948	163
工場団地造成事業		3,530	3,501	299
村営バス事業		1,099	817	282
集落排水事業		3億3,654	3億2,777	877



村職員の給与を公表

村職員の給与は、人事院及び県人事委員会の勧告に基づき、村議会の議決を得て条例で定めています。村では、給与の実態について、村民の皆さんにより広く知っていただくため、平成九年四月一日現在の「地方公務員給与実態調査」などの資料を基に、その概要をお知らせします。

Ⅰ 人　件　費（平成８年度一般会計決算）

住民基本台帳人口	歳出額(A)	実質収支	人件費(B)	人件費率(B／A)
(9.3.31現在)	千円	千円	千円	%
4,982人	3,704,517	41,121	793,272	21.4

※　人件費には、職員の給与のほか、共済負担金、退職手当及び常勤・非常勤の特別職報酬なども含まれています。

Ⅱ 職員給与費（平成９年度一般会計当初予算）

職員数	給与費				1人当たり給与費
(A)	給料	職員手当	期末・勤勉手当	計 (B)	(B／A)
	千円	千円	千円	千円	千円
89 人	340,882	52,859	164 146	557,887	6,268

※1　職員手当には退職手当を含みません。
　2　給与費は当初予算に計上された額です。

Ⅲ 職員の平均給料月額及び平均年齢（平成９年４月１日現在）

区分	平均給料月額	平均年齢
一般行政職	320,300円	40.4 歳
技能労務職	305,600円	47.3 歳

Ⅳ 職員の初任給（平成９年４月１日現在）

区分		初任給
一般行政職	大学卒	１７１，０００円
	高校卒	１３９，３００円
技能職		１３５，８００～１５１，３００円



シルバー人材センター会員を募集します

村では、健康で働く意欲のある高齢者の就労の場を確保するため、このたび、シルバー人材センターの設立準備委員会を設置しました。

センターの設立に向けて、会員を下記により募集します。

〔センターの仕組み〕

シルバー人材センターが民間や公共事業所などから仕事を受け、会員が就労し報酬を受け取ります。（仕事の発注者と会員との間に雇用関係はありません。）

〔応募資格〕

- おおむね60歳以上の健康な人
- 村内に居住している人
- 定年で勤めをやめた人、家業を家族に譲った人など

〔仕事の内容〕

草刈り作業（草刈り機、かま）、室内外清掃、庭木の手入れ、大工仕事、障子貼り、ペン字書、筆字書、その他

〔申し込み期限〕

11月28日（金）

※加入申込書は、各家庭に配布してあります。

〔申し込み・問い合わせ〕

鮫川村シルバー人材センター設立準備委員会事務局・村住民課福祉係（☎49－3111　内線230）

Ⅴ　職員の経験年数別・学歴別平均給料月額（平成９年４月１日現在）

区分		経験年数７～10年	経験年数15～20年	経験年数25～30年
一般行政職	大学卒	249,300円	341,300円	402,400円
	高校卒	210,000円	286,400円	366,700円
技能職		—	245,800円	323,400円

Ⅵ　一般行政職の級別職員数（平成９年４月１日現在）

区分	１級	２級	３級	４級	５級	６級	７級
標準的な職務内容	主事	主事	主任主事	主査	課長補佐 所長 主任主査	課長	参事
職員数	４人	７人	９人	４人	35人	６人	４人
構成比	5.8％	10.1％	13.0％	5.8％	50.8％	8.7％	5.8％

Ⅶ　職員手当

手当名	（支給割合）	期末手当	勤勉手当
期末手当 勤勉手当	６月期	1.6月分	0.6月分
	12月期	1.9月分	0.6月分
	３月期	0.5月分	—
	計	4.0月分	1.2月分
	職制上の職務級による加算措置があります。		
退職手当	（支給率）	自己都合	勧奨・定年
	勤続20年	21.0　月分	28.875月分
	勤続25年	33.75月分	44.55　月分
	勤続35年	47.5　月分	62.7　月分
	最高限度額	60.0　月分	62.7　月分
	定年前早期退職者の特例措置として２％～20％の加算措置があります。		
扶養手当	配偶者		16,000円
	配偶者以外の扶養親族のうち２人までそれぞれ		5,500円
	配偶者のない職員の扶養親族のうち１人		11,000円
	その他		それぞれ2,000円
	16歳～22歳までの子１人につき3,000円を加算		

住居手当	借家	自宅
	100円～27,000円	3,000円

通勤手当	交通機関利用者	交通用具使用者
	運賃相当額	2,000円～32,400円

Ⅷ　特別職の報酬など（平成９年４月１日現在）

区分	給料報酬月額	期末手当 ６月期	12月期	３月期	計
村長	755,000円	月分	月分	月分	月分
助役	602,000円	1.6	1.9	0.5	4.0
収入役	577,000円				
教育長	569,000円				
議長	312,000円	1.6	1.9	0.5	4.0
副議長	235,000円				
議員	215,000円				

鹿角平で6、000人が舌鼓

第10回高原の鮫川うまいもの祭り

今年で十回目を迎え、村の一大イベントとして定着した「高原の鮫川うまいもの祭り」が十月十九日、「でかけておいで、おいしい王国さめがわへ」をキャッチフレーズに、鹿角平観光牧場で行われました。鮫川牛のバーベキューをメーンに、農産物などの鮫川産品をピーアール。村内はもとより、県内外から約六千人が訪れ、高原の秋を満喫しました。



とびっきりの笑顔です



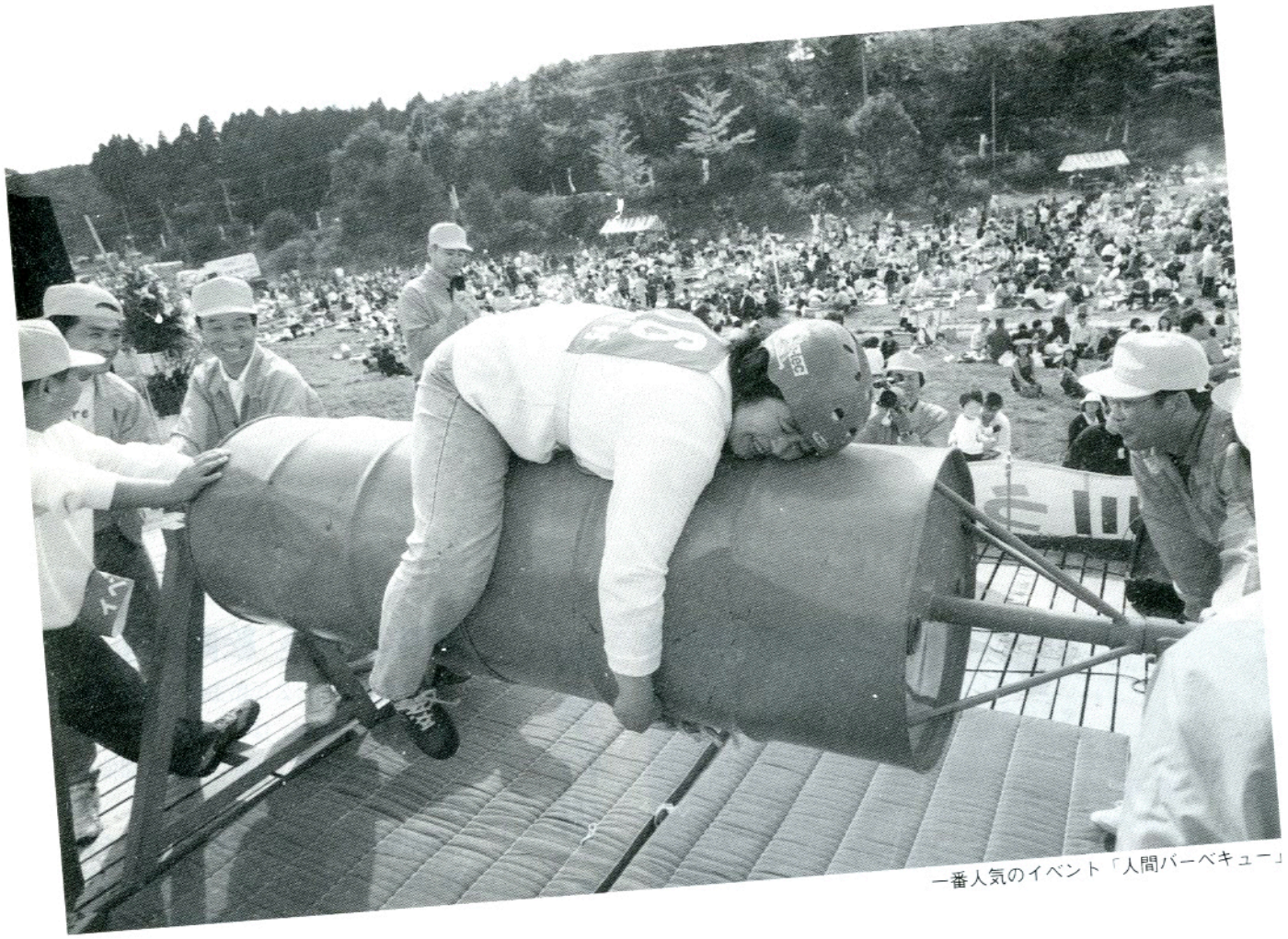
今年のお客さんはノリがいい



子どもに人気のミニ動物園



ラジオ福島でおなじみの高橋佳生さんのライブ



一番人気のイベント「人間バーベキュー」



祭りを盛り上げた奥州鮫川太鼓



おいしいけど苦しい(おにぎり丸かじり大会)



おみやげは青空売店で

むらのできごと

広報にあなたの写真が載りましたら
さしあげますのでご連絡ください。
（☎49－3111 内線214）

趣味の講座「絵画教室」

村教育委員会と公民館主催による趣味の講座「絵画教室」は、９月４日から10月30日まで週１回、８回にわたり開催されました。

浅川町在住の画家・芳賀仁美先生を講師に迎え、「アクリル画」に挑戦しました。アクリル画とは、合成樹脂でできた絵の具を水で溶かして描くもので、水彩画と油絵の両方の良さを合わせ持っています。

参加した11人の皆さんの作品は、いずれも見事な出来栄えでした。



講座に参加した皆さん

伝承行事「むじなっぱたき」



専用のたたき棒で地面をたたく子どもたち

富田館山会（坂本春光会長、会員九人）では、十一月八日（土）午後六時から、恒例の伝承行事「むじなっぱたき」を行いました。

「刈り上げ十日」を迎える時期に毎年行っているもので、今年は地区の子どもたち二十二人が参加しました。

二班に分かれて各家庭をめぐり、ミヨウガの茎を芯にしてわらで巻いた専用のたたき棒で地面をたたきながら、「むじなっぱたきのお祝いで貧乏神をたたき出せ、福の神持ち込め」と大きな声で歌いながら、五穀豊穣と無病息災を祈願しました。

子どもたちは、とん汁をごちそうになったり、各家庭でお祝いのお菓子などをもらい大喜びでした。

お元気ですか　健診結果を生かす



村国保診療所
菅野　誠先生

日増しに寒さが厳しくなり、各地から初雪の知らせも聞かれるようになりました。体調を崩しやすい季節ですので、風邪などをひかないよう注意してください。

今年も、村の健康診査が終了し、皆さんの手元に次々と結果が通知されていると思います。健康診査は、日ごろの健康管理と病気の早期発見のために、ぜひ受けてほしいと思いますが、同時にその検査結果をどう生かしていくかということも大切なことです。

検査結果は、各項目の正常値を参考にして、それより高い場合、あるいは低い場合に異常と判断され、その程度により「要指導」と「要医療」に区分されます。

要医療の場合は、検査結果が異常値ということで、病気かどうか、治療が必要かどう

新嘗祭献穀田抜穂祭

（にいなめさいけんこくでんぬきほさい）

宮中行事の「新嘗祭」に献上される米の献穀者として宮内庁の指定を受けた高野博光さん（西山字発地岡）の水田で、十月十六日、「抜穂祭」（稲刈り）が古式ゆかしく行われました。

秋空が広がる中、関係者約八十人が参列のもと、水田わきで神事が行われました。

「抜穂の儀」では、高野さん夫妻と、かすりの着物姿の刈女（かりめ）五人が、順調に成育したコシヒカリの稲をはさみを使って丁寧に刈り取りました。

引き続き、関係者一人ひとりにかまが手渡され、全員で刈り取りました。

式終了後は、西山区集落センターを会場に直会が開かれ、芳賀村長らが祝辞を述べ、収穫を祝いました。

高野さん夫妻は、十月三十日（木）に皇居で行われた「平成九年度新嘗祭献穀納式」で芳賀村長とともに精米五合を無事献上し、喜びを新たにしました。なお、新嘗祭は十一月二十三日（日）に行われます。



稲を刈り取る高野さん（左）と刈女

盆栽・山野草展

村文化祭行事の一環として村盆栽愛好会と山野草愛好会が主催した「盆栽・山野草展」が、十月二十二日から二十四日までの三日間、山村開発センターで開かれました。

丹精込めて手入れされた盆栽八十点、山野草六十九点が展示され、訪れた人たちを魅了しました。

盆栽の部では大竹茂さん（西山字菅ノ目）の作品「五葉松」が、山野草の部では阿久津一衛さん（赤坂西野字滑石）の作品「イワシャジン」が、それぞれ村長賞に選ばれました。



見事な作品が並ぶ

か、医療機関で精密検査あるいは再検査が必要ですので、早めに受診してください。検査項目によっては個人差の大きいものもあり、異常値だから病気というわけでもありませんので、心配せずに受診してください。

要指導の人は精密検査は必要ありませんが、日常生活、特に食生活、運動、ストレスなどの偏りを正していくことが必要です。この機会に自分の生活を見直してください。

き、一回の結果だけでなく、経年的にデータの推移をみることも大切です。正常範囲でも、年々上昇傾向にある場合は、注意が必要になります。

基本健康診査は、主に成人病を対象に検査項目が組み込まれています。成人病は「生活習慣病」といわれるように、日ごろの生活スタイルのゆがみにより生じるものです。検査結果を参考に、今までの生活を見直し、家族の健康管理のために役立ててください。

また、各種がん検診も実施されていますので、定期的な受診により早期発見・早期治療に努めましょう。

CLOSE UP
クローズアップ

11月6日～12日は 年金週間です

人生八十年時代――。公的年金制度は、長い老後の生活を経済的に支える柱として高齢者の生活になくてはならないものになっています。

毎年十一月六日から十二日までの一週間は「年金週間」です。この機会に改めて年金の仕組みや大切さについて考えてみましょう。

所得の保障が役割

年をとったり、病気やけがで働けなくなったとき、また、一家の働き手が亡くなったときに、所得の保障をしてくれるのが年金制度です。わが国の公的年金制度では、加入者が一定の保険料を納めることによって年金が支給されます。

もし、公的年金がなかったら、老後の生活はとても困難なものになるでしょう。家族のだれかに経済的に頼ったり、若いときからの貯蓄を当てにしたりするのには限界があるからです。

世代と世代の支え合い

高齢者の生活を支えるためには、社会全体での負担が必要です。公的年金が生涯の生活保障としての機能を十分に発揮できるのは、「世代間扶養」という仕組みになっているからです。これは、現役で働く人たちが必ず公的年金に加入し、高齢者の年金の支払いに必要な費用を負担するという仕組みです。

現役世代が納める保険料が今の高齢世代を支え、現役世代が高齢者になったときには、次の世代の納める保険料が生活を支えてくれる――。公的年金制度は「世代と世代の支え合い」によって成り立っているのです。

どの世代の人にも、若いときに納めた保険料が将来の安心となって返ってくるわけです。

20歳から 将来の安心づくり

わが国の公的年金制度は、二十歳以上六十歳未満の全国民が必ず国民年金に加入し、保険料を支払わなければなりません。つまり、将来の安心づくりは二十歳から始まっていると言えるでしょう。

●年金に関する問い合わせ
住民課福祉係（☎内線234）

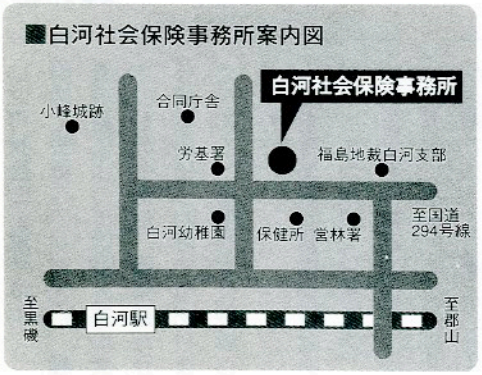
白河社会保険事務所 11月4日業務開始

11月4日(火)に、白河社会保険事務所が開所しました。厚生年金などに関する手続き、相談については、下記にお問い合わせください。

白河社会保険事務所

〒961　白河市郭内115-3 ☎0248－27－4161
※年金相談受付時間
午前9：15～11：30、午後1：00～3：45

■白河社会保険事務所案内図



史・資料を探る
村史編さん室

安政二年（一八五五）二月
類焼百姓御手当金拝借の事

乍恐奉願上口上之覚（おそれながらねがいたてまつるこうじょうのおぼえ）

御新領塚本村
百姓　次三郎

一金五両也之所へ
金三両拝借

来辰より申迄五ヶ年賦返納

右の者去る寅十二月当村出火の節類焼仕り、家財農具種籾等迄焼失仕り当惑至極、御百姓相続け仕り候手段御座なく必死難渋仕り候間、格別の御慈悲を以て家作・農具・種籾代の為、前書の金子御拝借仰せ付けられ下し置かれ候様願い上げ奉り候、御返上の義は永年賦に成し下され候わば、御百姓相続け仕らせ候間、何卒願いの通り仰せ付け下し置かれ候御手当金申し上げるに及ばず、村中一同有難き仕合せに存じ奉り候、此の段偏（ひと）に願い上げ奉り候、以上

安政二卯年二月

右村組頭　市五郎
庄屋　高坂庄次兵衛

松崎輪作様
藤山新助様

（御用書留帳）

安政二年は今から百四十二年前。この前年には東海地方に地震が相次ぎ、死者七千人と、幕末の世情を一層不安にさせました。ここに上げる文書は、そういう中、安政元年に塚本村が火災にあい、類焼の百姓次三郎に係わる棚倉藩からの手当金の願う書です。「口上の覚」とあるのは、江戸時代、支配役所・役人などに対し、当事者が口答で申し述べることを誤伝をさけるため書付にして差し出した文書のことをいいます。「口上覚書」ともいわれます。御新領とあるのは、塚本村が弘化三年八月の領地替えで棚倉藩領となったことを示しています。このとき棚倉藩となったのは、ほかに赤坂中野村、渡瀬村があり、このため小見川藩赤坂中野陣屋が仙石へ移ったわけです。

棚倉藩は、火災などの災害に対する貸付けを行っていたこと、それがこの場合、金五両のところへ内輪の三両の貸付となったことには、藩財政の逼迫、そして五カ年賦のところを永年賦のと願い出ていることなどから、双方とも容易でなかった実情を伺い知ることができます。なお、「御百姓」という認識にも、与えられた身分という封建制度の下での従属的意識を読み取ることができます。



文芸



俳句

福島市　中井　恒峯
コピー機の紙食む音や稲穂揺れ
いわき市　金沢　暁舟
畦刈りの忘れ砥石に夕とんぼ
道少田　山本　朗史
稿終えて一尾の秋刀魚熱く食う
横座　矢吹　茂
夕映えて空一面の赤とんぼ
押目　北條素人坂
緑濃き谷を黄金に染めゆく田
新宿　斉須　信子
栗ごはん噛みしめながら母想う
前田　金沢三津子
取り残す加子のつやつや陽を返す
反田　小山田清哲
豊作だ案山子張り切れ雀追え
二反田　大平　太平
丹精の菊まんなかに酌み交わす
新宿　大池　魚水
大輪の莢蒾の花の三つ咲き
白河市　矢部　正子
駅伝や古墳の垣を山ぶどう
前沼　黒田　寿香
朝寒や猫まんまるくふくれおり
道少田　山本五十鈴
暫くは車窓に那須の山紅葉

短歌

大塩　鈴木　クニ
半世紀わが家の家計支えたる物言はぬ牛と今日は別れる
大塩　水野　フク
たまごっち毎日頼まれ疲れたり聞えぬ振りするピッピー呼ぶも
大塩　岡部　シゲ
牛飼いて幾十年かわが夫も歳には勝てぬと今日は手放す
官代　前田　栄美
落ち蟬に蟻が群がり曳きてゆく昨日ききたる蟬かも知れぬ
岫長　北條　平
爽やかに吹き来る風は稔り田の穂波明るくゆらして過ぎる
棚橋　関根　一好
逝きてはや十七回忌遺影の妻白髪のわれを見下している
中野町　赤坂　朝子
この里に根を下ろしたる木の如く動かぬ歳の六十余年
大戸中　小松セツ子
畦草も黄に彩られ混じる穂の稲の刈取り適期が迫る
田苗下　蛭田　正
氷片のはじける音と冷感と琥珀の酒をグラスに注ぐ
越虫星　武
台風のそれて今年も豊作と流れる雲は影おとしゆく
関口　藤田　マサ
級友の訃報を聞いて茫然とコスモスの花に面影が浮ぶ
楢久保　森　芳子
上棟を昨日に済みし甥の家木の香ただよう大黒柱
酒垂　石井　カヤ
あっという間に一年過ぎて今日夫の一周忌菊の花盛りなり
沼野沢　本郷　チヨ
榛名湖を望む三枝子の歌碑の前「湖畔の宿」のメロデーに浸る
本坂　藤田　末光
網戸越し蝗が静かにのぼりゆく稔りの秋に腹を満して
鍬木田　松本　一郎
豊穣の秋は頭痛の種なりや處分に苦労は罰当りかも
名下　須藤美代子
真夜ひらき儚くしぼむ月下美人のその豪華さよ花の命は

ふれあいひろば

独身男女の皆さん X'masを楽しもう

大字渡瀬字青生野在住
堀川　直美さん

私は、県南青年交流実行委員会（事務局・棚倉町役場）で実行委員をしています。

県南青年交流実行委員会では、昨年に引き続き「クリスマスパーティー」を企画しました。

昨年はなんと、百六十人余りの独身男女の皆さんが集まり、それぞれに交流を深めることができました。

今年も超豪華（？）景品付きのゲームなどのほか、二次会も計画しています。

村内の独身男女の皆さん。スキーやスノーボードもいいと思いますが、その帰り足にでも、このパーティーに参加して交流を深めませんか。

なお、今年は当日券も用意しています。

〔とき〕　十二月二十三日（火）午後六時から

〔ところ〕　新富家（棚倉町）

〔参加対象〕　独身男女（男性は、鮫川村、棚倉町、浅川町、表郷村、東村の住民に限ります）

〔参加費〕　一人　三千円

〔申し込み・問い合わせ〕　県南青年交流実行委員会事務局・棚倉町地域振興課（☎33-2111）または、堀川直美（48-2004）まで。

がんばれ鮫川村チーム

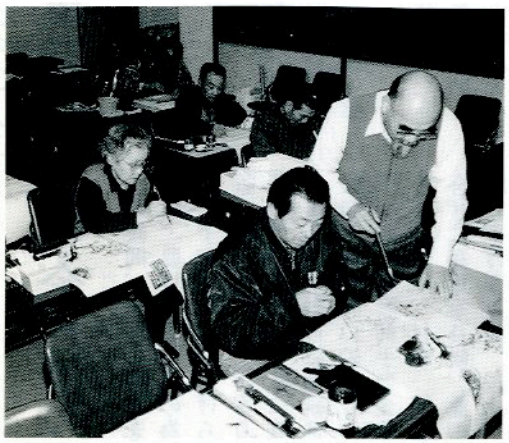
神奈川県横浜市在住
福島　カツ子さん
（宮沢出身・旧姓松崎）

いつも「広報さめがわ」をお送りいただきありがとうございます。楽しく読ませていただいております。

今年も「ふくしま駅伝」の時期が近づいてきましたね。いつも遠くから応援しています。選手の皆さん頑張ってください。

※福島さんから、このたび、選手の皆さんに激励金をいただきました。ありがとうございました。

仲間たち



鮫川村水墨画クラブ

会　　長　田子金夫（酒垂）
会　　員　20人
発足年月　平成6年10月
連 絡 先　会長宅（☎49-2371）または庶務中井光徳宅（☎49-2166）
定 例 会　第1・第3水曜日　午後7時　山村開発センター
会　　費　月1,000円

鮫川村水墨画クラブは、月2回、村出身の画家・中井恒峯先生（福島市在住）の指導のもと、技術の向上に励んでいます。

仏画、山水、花鳥、野菜、魚など、題材はさまざま。また、墨のほかに顔彩という日本画専用の天然絵の具を使って描きます。

水の加減により墨の濃淡を出しながら表現するのが難しく、またそれが最大の魅力でもあります。

年に一度の展示会も今年で3回目。村文化祭への出品は4回を数えます。また、東北総合美術展や福島県日本画連盟展、福島県俳画展での入賞を目指し頑張っています。

絵の好きな方、興味のある方は、私たちと一緒に活動しませんか。

声　お寄せください

普段あなたが考えていること、村づくりに関する提案など、皆さんの声をお寄せください。（住所・氏名明記、紙上匿名可）

●**あて先**　〒963-84 鮫川村大字赤坂中野字新宿39-5 鮫川村役場「広報さめがわ」行　FAX 49-2651

暮らしのワンポイント　着物の手入れと保管

着物をいつまでも美しく着るためには、着終わった後の手入れが大切です。

脱いだらすぐに着物用ハンガーに掛け、半日から一日陰干しにします。次に、ビロードの布や毛の柔らか

東京鮫川会からこんにちは

心がやすらぐ「広報さめがわ」



佐藤 敬子さん
（旧姓 鷲野谷）
埼玉県入間郡在住
富田字彦次郎出身

鮫川村を離れて、早二十一年が過ぎました。私は高校を卒業後、埼玉医科大学内の看護学校で四年間学び、現在は母校の看護学校で教員をしています。

故郷を離れて以来、鮫川村を忘れたことはありません。特に「広報さめがわ」は、私を鮫川村に瞬間移動させてくれます。私が夢中で広報を読んでいると、息子の匠が「お母さん、幸せそうな顔をしているね」と話しかけます。そのとおりなのです。「広報さめがわ」は、私の心に安らぎを与えてくれるのです。

ところで、私が看護学生だったころ、鮫川村出身の患者さんとの出会いがありました。患者さんは少し熱がある様子だったので、氷まくらを届けたときのことです。「看護婦さん、出身は」と聞かれ「福島県の鮫川村です」と答えました。患者さんは、驚いた表情と同時に私の名札を見て「富田がい…。源ちゃんの孫がーい」と言いました。私も驚きとうれしさで仕事も忘れ、懐かしさのあまり、しばらく鮫川村の話で患者さんと盛り上がってしまいました。ところで患者さんの熱は…。下がってしまったようでした。ふるさとの話は、患者さんの安定剤となったようですね。

話は変わりますが、私が子どものころ、よく近くの山へ友達と数人で探険に出かけたものです。そのとき夢中で採って食べた「あけび」や「山ぶどう」「山なし」は、山の最高のごちそうでした。そのような、すばらしい自然に囲まれた鮫川村で過ごした歳月は、今も私の宝物であり、今後も自然と緑にあふれた村であってほしいと願ってやみません。

最後に、鮫川村のますますのご発展と皆様のご健康を心よりお祈りいたします。



大竹 雅裕くん
平成6年4月29日生まれ
おとうさん 良さん
おかあさん 和子さん

雅裕くんの自慢

雅裕くんは、むし歯がないのが自慢です。魚をたくさん食べて、牛乳をたくさん飲んでいるから、歯がじょうぶになったのかな。歯みがきもがんばって、むし歯をつくらないようにしようね。

こちら窓口

10月1日から
31日までの届出

●お誕生おめでとう

地区	赤ちゃんの名前	月/日	保護者
青生野	棚井 隆毅	9/28	正治
江竜田	芳賀 美咲	10/5	弘幸
越虫	藤田 健人	10/8	美光

●おくやみ申し上げます

地区	亡くなられた方	月/日	年齢
前田	金澤 正	10/8	50
彦次郎	赤坂 ヤス	10/21	91
中	高坂 喜政	10/27	72



いブラシで布目に沿って軽くたたくように全体のほこりを落とします。その際、しみや汚れもチェック。衿や袖口の汚れは、着物の下に白いタオルを敷き、ベンジンを含ませたガーゼでたたきます。汗をかいた部分は、霧を吹きかけて白いタオルをあて軽くたたけば落ちますが、変色していたらクリーニング店に任せましょう。泥はねは、乾いてから軽くもむか、柔らかいブラシで落とします。しみの場合は、成分、布地の色や種類によりしみ抜きの方法が異なります。水をつけただけで変色する布もあります。チェックが済んだら、着物の裏から当て布をしてアイロンをかけ、きちんとたたみます。保管は一着ずつ畳紙か木綿の風呂敷に包み、重ね過ぎないようにしまいます。畳紙を通して色が移ることもあるので注意しましょう。防虫剤は引き出しの四隅に。

たまにしか袖を通さない着物だからこそ、手入れをきちんとしたいものです。

今月の納付

固定資産税　4期分
国民健康保険税　6期分
国民年金保険料　11月分

納期限　11月25日(火)

納期内に納めましょう
口座振替の方は残高確認を



募集

「源流の里づくり」キャラクター愛称

県南地方では、〝うつくしま、ふくしま。〟県民運動の一環として「源流の里づくり」をテーマとした運動を推進しています。

この運動を一層盛り上げるとともに、県南地方のイメージアップとPRに活用するため、このたびシンボルキャラクター（水の妖精）を決定しましたので、その愛称を募集します。デザインにマッチした、親しみやすい名前をつけてください。

〔応募方法〕 官製はがき一枚に一点とし、①愛称、②簡単な説明、③氏名（ふりがな）、④住所、⑤電話番号、⑥性別、⑦年齢、⑧職業（または学校名と学年）を明記のうえ郵送してください。一人何点でも応募できますが、自作で未発表のものに限ります。

〔賞〕 最優秀賞一点（賞状と副賞五万円）、優秀賞三点（賞状と副賞三万円）。高校生以下の副賞は図書券。

〔応募締め切り〕 十二月十日（水）当日消印有効

〔応募・問い合わせ先〕 福島県県南地方振興局企画部地域振興課（〒961 福島県白河市昭和町二六九、☎0248-23-1506）



源流の里づくり
シンボルキャラクター（水の妖精）

年金

年金教育資金貸付制度

年金教育資金貸付制度は、年金積立金を原資とした還元融資の一環として、国民年金か厚生年金に十年以上加入している人に対し、お子さんの入学時や在学中に必要な費用について低利で融資する制度です。

この資金は、在学中の国民年金保険料の支払いにも利用することもできます。

〔申し込み・問い合わせ〕 社団法人福島県年金福祉協会（☎0245-22-2611）

保険料の時効

国民年金の保険料は、二年を経過した翌月で時効となり納められなくなります。

届け出を忘れて、さかのぼって加入した場合、平成九年十一月現在納付できるのは、平成七年十月分からとなります。それ以前の分は納付できないため、未納期間として残ってしまいます。

老齢基礎年金は、二十歳から六十歳までの四十年間、すべての保険料を納めて満額となりますので、未納の期間は満額からその分減額された年金になってしまいます。

なお、六十歳時点で未納がある人は、満額に近づけるために、六十五歳までの間、任意加入して納めることができます。

〔問い合わせ〕 住民課福祉係（☎内線234）

税金

サラリーマンの年末調整

年末調整は、毎月の給料やボーナスから差し引かれた所得税と、一年間の給与総額に対する年税額との差を精算するもので、サラリーマンにとっては確定申告に代わる大切な手続きです。次に該当する人は、勤務先に控除申告書を提出してください。

①扶養親族に異動があった人、②各種保険料の控除を受ける人、③配偶者特別控除を受ける人、④年の途中で給与の額に変更がある人

〔問い合わせ〕 白河税務署（☎0248-22-7111）

村税完納推進月間 継続完納41年達成にご協力を

鮫川村では昨年度、村民の皆さんのご理解とご協力により、村税完納四十年という全国でも数少ない輝かしい記録を達成しました。

この成績をさらに伸ばし、住みよい村をつくるため、十二月一日から二十二日までを「村税完納推進月間」とし、村税の完納運動を展開しますので、ご協力をお願いします。

〔問い合わせ〕 総務課税務係（☎内線217）

宝くじの収益金は、私たちの街の公共事業に役立てられています。
第37回全国自治宝くじ 年末ジャンボ
1等前後賞合わせて 1億5,000万円
1等6,000万円×228本
前後賞各4,500万円×456本
発売期間 12月1日(月)～12月25日(木)
（発売総額2,280億円・76ユニットの場合）

1等	6,000万円	228本
1等の前後賞	4,500万円	456本
1等の組違い賞	10万円	22,572本
2等	1,000万円	228本
3等	100万円	3,600本
4等	5万円	228,000本
5等	1万円	760,000本
6等	3,000円	7,600,000本
7等	300円	76,000,000本

抽せん日：12月31日(水)
1枚300円
お問い合わせ先 tel.03-3598-3771
http://www.takarakuji-cpa.or.jp/ 全国都道府県及び12指定都市
宝くじ
※この広報事業は財団法人全国市町村振興協会の後援を得ています。

催し

第2回新そば祭り

鮫川村そば愛好会「わたしのそばがいい会」と交流施設「ほっとはうす・さめがわ」の共催による「第二回新そば祭り」を次により開催します。

〔日時〕　十一月二十四日（月）午前十一時から

〔場所〕　交流施設「ほっとはうす・さめがわ」

〔料金〕　一人　千二百円（村内産そば粉一〇〇％の手打ちそば、山菜の煮物、天ぷら、漬物、さしみこんにゃくセット、限定二〇〇食）

●そば打ち体験コーナー

〔料金〕　一人　二千円（お土産用として四人前、人数に制限があります）

〔問い合わせ先〕　交流施設「ほっとはうす・さめがわ」（☎48－2555）

相談

心配ごと相談

〔日時〕　十一月二十日（木）午前十時～午後三時（午後一時からは吉川幸雄弁護士が相談を受けます）

〔場所〕　山村開発センター

〔問い合わせ〕　村社会福祉協議会（☎49－3600）

行政相談

〔日時〕　十一月二十日（木）午前十時～午後三時

〔場所〕　山村開発センター

寄付

（敬称略）

▼社会福祉事業のために

・前田　金澤正男
・彦次郎　赤坂一郎
・神奈川県藤沢市　高坂喜一

▼鮫川中学校へ（教材費用）

・いわき市　大友丈夫（遠ケ竜出身）

第8回村民駅伝大会にご協力を

村体育協会主催の第8回鮫川村民駅伝大会が、11月30日（日）、役場前をスタート・ゴールとする13区間、32.20kmのコースで行われます。本大会のスムーズな運営のために路上駐停車などをしないよう、ご協力をお願いします。

通過予定時刻	中継所
10:00	役場前（スタート）
10:07	東前田橋
10:15	鬼越（戸倉入口）
10:30	西山小学校前
10:42	滝バス停前
10:50	本坂バス停前
10:56	大塩（大楽米肥店倉庫前）
11:04	役場前
11:16	富田小学校前
11:28	福原バス停前
11:36	ＪＡ渡瀬支所前
11:44	福原バス停前
11:56	富田小学校前
12:10	役場前（ゴール）

子犬子猫の里親探しネットワーク事業

捨てられたり、処分される子犬や子猫をなくすため、生後2～3カ月の子犬、子猫を譲りたい人と、里親希望者の仲介をする事業です。

（白河市、西白河郡、東白川郡のみ）

詳しくは、県南保健所衛生課食品衛生係（☎0248－22－5441）にお問い合わせください。



消費生活コーナー

インターネットの通信販売トラブル

インターネットを利用した通信販売が近年急増しています。これは、好きなときに最新の情報を見ながら、国内・国外を問わず、ホームページを開設中の販売業者に対して申し込みができることが大きく影響しているようです。

現在は、食料品や衣料品、書籍といった商品の購入から、コンサートチケットや航空券、ホテルなどのオンライン予約もできます。

メリットの多いインターネット取引ですが、その一方では、トラブルも発生しています。

・代金を前払いした商品が届かない。
・商品がホームページに掲載されていた物と違っていた。
・契約した覚えのない情報利用料の代金が口座から引き落とされていた。

販売業者の連絡先が電子メールのアドレスしか分からない場合、トラブルの解決には困難が予想されます。また、取引で使うクレジットカードの番号やパスワードなどがハッカーに盗まれ、悪用される危険性もあります。インターネット取引は便利なものですが、消費者保護のためのルールはまだ確立されてなく、今後の早急な対策が求められています。

平成9年11月号 No.527
発行・編集／鮫川村役場総務課
〒963-84 福島県東白川郡鮫川村大字赤坂中野字新宿39-5
TEL（0247）49-3111 FAX（0247）49-2651
印刷／佐藤印刷所



バードウオッチング

鮫川の野鳥

ホオジロ（ホオジロ科）

村内でも、ごく普通に見られるスズメくらいの大きさの鳥で、スズメに似た地味な色をしているが、その名のとおりホオの白い線が目立つ。冬の間は小さな群れをつくり、荒れ地で草の実などをついばむ。あまり目立たないが、早春から杉などの高い木の先にとまり、テントリー（縄張り）を示すため空を仰いで歌い続ける姿が見られる。

写真・文／鈴木　一さん（村内鍬木田在住）

ごみ収集日（11・12月）

収集場所	種別	11月	12月
江竜田～中野町～福原～鍬木田～広畑～新宿～道少田～大塩コース	可燃物	6.10.13.17 20.27	1.4.8.11.15 18.22.25.29
	不燃物	7.21	5.19
さぎり荘～村営住宅赤坂中野団地コース	可燃物	6.10.13.17 20 27	1.4.8.11.15 18.22.25.29
	不燃物	5	3.17
鮫川分校（可燃物木曜のみ）鮫川中学校コース	可燃物	6.10.13.17 20.27	1.4.8.11.15 18.22.25.29
	不燃物	6.20	4.18
関下～越虫～青生野小学校～世々麦～葉貫～藤ノ草～中沢～関口コース	可燃物	5.12.19.26	3.10.17.24 30
	不燃物	5	3.17
真坂～押目～酒垂～塚本～荻ノ沢～折戸～水口～官沢コース	可燃物	5.12.19.26	3.10.17.24 30
	不燃物	6.20	4.18
官代～遠ケ竜～大石草～大根屋敷～内ケ竜コース	可燃物	5.12.19.26	3.10.17.24 30
	不燃物	7.21	5.19
石井草～大久保～鬼越～赤柴～沼野沢～岩野草～薄ケ久保コース	可燃物	5.12.19.26	3.10.17.24 30
	不燃物	28	26

編集後記

村内に数多く残されている文化財。長い歴史を刻み、現代に受け継がれてきました。明治三十年に「古社寺保存法」が定められました。その後「国宝保存法」を経て、昭和二十五年に「文化財保護法」が制定され、現在の文化財指定制度が形作られました。今年は、古社寺保存法制定から百年という記念すべき年です。文化財は、現代社会の発展の基礎となってきました。今回、村内にある文化財を巡ってみて、村の伝統や文化などをもっと理解しなければならないと感じました。（舟木）

休日のお医者さん

月日(曜)	病・医院名	所在地	電話番号
11月16日(日)	あらまちクリニック	棚倉町	33-8018
	東舘診療所	矢祭町	46-3165
	務川医院	石川町	26-5585
11月23日(日)	杉山胃腸科外科皮膚科	棚倉町	33-7551
	中島医院	塙町	43-0373
	田中内科医院	石川町	26-3333
11月24日(月)	和田医院	棚倉町	33-2012
	車田病院	塙町	43-1019
	大野病院	石川町	26-1181
11月30日(日)	勝田医院	棚倉町	33-3008
	塙厚生病院	塙町	43-1145
	大竹眼科	石川町	26-4118
12月7日(日)	大木医院	棚倉町	33-2424
	石川医院	塙町	43-0003
	中島病院	石川町	26-3415
12月14日(日)	東白川中央病院	棚倉町	33-3263
	木村医院	矢祭町	46-3528
	愛恵会大野診療所	石川町	26-2615
12月21日(日)	藤田医院	棚倉町	33-2013
	金沢医院	矢祭町	46-2312
	鹿岡産婦人科医院	石川町	26-2623

今月の人口（10月1日現在）

人口	男	女	世帯
4,960人（－5）	2,453人（＋1）	2,507人（－6）	1,123戸（＋1）